

【参考資料】 平成22年度 実績報告（飛騨高山・間伐材テクJV）

作成日：平成23年4月27日

施業集約化	計画	実績	達成率	今後の対応	備考
数量	126ha	50	39.7%		人工林：施業同意レベル 天然林：長期受委託レベル
いつ	4月～3月	4月～3月	/	年間を通じて森林所有者に対する働きかけを行うが、間伐等本格施業前の春～夏を強化期間とする。森林組合職員及び森林組合任命の地域施業推進(仮称)による森林所有者への働きかけを強化する。組合広報誌や総代会資料に掲載してプロジェクトのPRを行う。個別訪問以外に現地説明会を開催して施業集約化を推進する。	
誰が	施業集約化担当：野林明也・中島武(森林組合)	施業集約化担当：野林明也・中島武(森林組合)			
どういった方法で	個別訪問 現地説明会	個別訪問 現地説明会			

下刈・除伐	計画	実績	達成率	今後の対応	備考
数量	1ha	0ha	0.0%	H23予定：1ha	
いつ			/		
誰が					
どういった方法で					

切捨間伐	計画	実績	達成率	今後の対応	備考
数量	29ha	5ha	17.2%	H23予定：25ha	
いつ	4月～3月	4月～3月	/	年間を通じて切捨間伐を行う。 飛騨高山森林組合 若齢林分の生長を促進するため、保育間伐を積極的に行い、将来の利用間伐に備える。間伐手遅れ林分は、強めの間伐率で実施する。	
誰が	森林整備担当：松葉悠二(森林組合)	森林整備担当：松葉悠二(森林組合)			
どういった方法で	利用できない林分を切捨間伐	利用できない林分を切捨間伐			

利用間伐	計画	実績	達成率	今後の対応	備考
数量	45ha	40.6ha	90.2%	H23予定：40ha	
いつ	4月～3月	4月～3月	/	梅雨、降雪期間を含めてできる限り年間を通じて素材生産を行う。 飛騨高山森林組合・日和田林産・山下林業 新規開設した作業道を積極的に活用して利用間伐を行う。	
誰が	飛騨高山森林組合・日和田林産・山下林業	飛騨高山森林組合・日和田林産・山下林業			
どういった方法で	搬出可能な箇所は利用間伐	搬出可能な箇所は利用間伐			

作業道開設	計画	実績	達成率	今後の対応	備考
数量	W=3.6m、L=5,000m	W=3.6m、L=6,481m	129.6%	H23予定：7,037m(基幹作業路) 計 L=7,037m	開設コスト(3.6m)：4,558円/m
	W=3.0m、L=2,000m	W=3.0m、L=807m	40.4%		開設コスト(3.0m)：2,195円/m
	計 L=7,000m	計 L=7,288m	104.1%		内、H22繰越2,037m含む
いつ	4月～3月	4月～3月	/	冬期間以外は年間を通じて開設を行う。 飛騨高山森林組合・NFC・FECカネマル 路網整備と高性能林業機械を組み合わせた素材生産の低コスト化を実現するため、路網密度及び路網配置を考慮しながら、作業道を先行して開設する。	
誰が	飛騨高山森林組合・NFC・FECカネマル	飛騨高山森林組合・NFC・FECカネマル			
どういった方法で	設計・飛騨高山森林組合 施工・管理：連携事業体	設計・飛騨高山森林組合 施工・管理：連携事業体			

素材生産		新規チーム設立 (H19・H20)		内容	
新規構築作業システム(機械の組合せ、種類・規格・台数)				伐倒、:チェンソー → 集材:スイングヤーダ(0.45) → 造材:プロセッサ → 積込:グラブブル(0.45) → トラック(10t)	
素材生産チームの人員数(人)	実施前 → 実施後 (H21) (H22)		1チーム(3人/班)	2チーム(3人/班)	
実稼働日数(日)			250	156	
素材生産性(m ³ /人・日)			5.1	5.2	
素材生産費(円/m ³)	H22計画(実績)		架線系:8,300(8,700)円/m ³		
年間素材生産量	計画	実績	達成率	今後の対応	備考
モデル団地内	2,700	4,877	180.6%	H23 予定:2,400m ³	森プロ関係のみ
モデル団地外	—	—	—		
作業道支障木	0	1,334	—		
合計	2,700	6,211	230.0%		

上記のほか、プロジェクト推進のために講じる具体的取り組み					
計画	実績	達成度検証方法	今後の対応		
森林施業プランナーの育成(1名)	・集約化をしながら森林施業提案書を作成し、森林所有者と契約しており、育成しつつある。 (現在5名)	施業プランナーの養成(延べ人数)	・森林所有者に対し森林施業プランを提案し、施業集約化を推進しながら更なるレベルアップ及びプランナーの更なる育成と増員を図る。		
高性能林業機械を駆使した低コスト利用間伐研修会(1回)	・未実施	説明検討会の実施(回数)	・現地研修会の実施(10月頃)		
各地域の林業グループ員優良間伐モデル林視察研修会(1回)	・未実施	説明検討会の実施(回数)	・22年度は各グループ行事との日程が折り合わず実施に至らなかったが、本年は早めに日程を調整する(9月頃)		
地域イベントでの普及啓発(年1回)	・美しい森林づくりin高山研修会(1回 2月27日)	地域イベントでの普及啓発(回数)	・地域イベントでの普及啓発(年1回)		
高山市森づくり委員会研修会(1回)	・美しい森林づくりin高山研修会(1回 2月27日)	現地研修会(回数)	・森プロ実施検討会(年1回)		
組合員及び関係事業者等との連携強化	・美しい森林づくりin高山研修会(1回 2月27日)	地区別座談会の開催(回数)	・たかやま林業・建設協同組合との連携 ・地区座談会でのPR活動(年3回)		
水の濁度調査	・未実施	地区別座談会、市町村森林管理委員会への報告(回数)	・梅雨前中後での調査の実施		
モデル地内の巡回調査	・20回	地区別座談会、市町村森林管理委員会への報告(回数)	・降雨後等こまめに巡回調査		
環境影響に関する作業日報への記帳	・毎月1回の安全会議で趣旨を指導	安全会議での趣旨徹底(回数)	・安全会議での趣旨徹底(月1回)		